

令和 3 年度みやぎ環境交付金事業（計画・実績）概要書

市町村名	仙台市
事業名	民間施設再生可能エネルギー等導入補助

<事業目的>

東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、平時における環境保全及び、災害時における再生可能エネルギー等を活用した分散型エネルギー源の確保により、災害リスクへの対応力が高まるエネルギー自律型のまちづくりを推進する。

二酸化炭素削減効果	55,811kg-CO ₂
その他の効果	

<事業内容>

地域住民をはじめとした不特定多数の人が利用するなど、災害時において地域の防災拠点となりえる民間施設（※）に対して、平常時はCO₂削減に大きく貢献し、災害時は最低限必要な防災拠点機能を維持するために必要な電力を避難所に供給できる再生可能エネルギー等設備の新たな設置、更新又は増設を行う事業を対象に補助金を交付する。

※地域防災計画に基づき避難又は医療救護の拠点として指定を受けており、災害時において地域の防災拠点となりえる民間施設又は地域防災計画に基づく指定を受けている施設に準じ、災害時において地域の防災拠点となりえる民間施設

当年度の事業費：10,000 千円（うちみやぎ環境交付金 10,000 千円）

事業量：補助件数：2 件、事業実施期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 2 月 28 日

補助額（率）：補助対象経費の 1/2（1 件あたり上限 5,000 千円）

補助対象機器：下記設備の導入により、災害時等に地域の防災拠点として最低限必要なエネルギーを確保すること。

- ア 太陽光発電設備、イ 風力発電設備、ウ 小水力発電設備、エ 地中熱利用設備
- オ 廃熱や地熱利用設備、カ バイオマス利用設備、キ 太陽熱利用設備、ク 雪氷熱利用設備
- ケ ガスコージェネレーション設備、コ 燃料電池設備
- サ 蓄電池（発電設備と併設する場合に限る。）
- シ エネルギー管理システム（発電設備と併設し、施設の効率的なエネルギー管理に資するシステムに限る。）
- ス V2H設備（発電設備と併設し、かつ、V2H設備を介して民間防災拠点施設との間で相互に電力を供給するための電気自動車又はプラグインハイブリッド車を所有している場合に限る。）



太陽光発電設備



ガスコージェネレーション設備